

ジクトルテープ 75mg

【この薬は？】

販売名	ジクトルテープ 75mg ZICTHORU Tapes
一般名	ジクロフェナクナトリウム Diclofenac sodium
含有量 (1枚中)	日局ジクロフェナクナトリウム 75mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、経皮吸収型持続性疼痛治療剤に属する薬です。
- ・この薬は、炎症にかかわるプロスタグランジンという物質の産生を抑えることで、鎮痛作用をあらわします。
- ・次の目的で処方されます。

各種がんにおける鎮痛

腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群及び腱鞘炎における鎮痛・消炎

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると本来の効果が得られないことがあります。指示どおりに使用することが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・消化性潰瘍のある人
- ・重篤な血液の異常のある人
- ・重篤な腎機能障害のある人
- ・重篤な肝機能障害のある人
- ・重篤な高血圧症のある人
- ・重篤な心機能不全のある人
- ・過去にジクトルテープに含まれる成分で過敏症のあった人
- ・アスピリン喘息（非ステロイド性消炎鎮痛剤等により誘発される喘息発作）のある人、または過去にアスピリン喘息になったことがある人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・トリアムテレンを使用している人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・過去に消化性潰瘍になったことがある人
- ・血液の異常がある人、過去に血液の異常があった人
- ・出血しやすい人
- ・高血圧症のある人
- ・心機能障害のある人
- ・全身性エリテマトーデスの人
- ・気管支喘息のある人（アスピリン喘息のある人または過去にアスピリン喘息になったことがある人は、この薬を使用することはできません。）
- ・潰瘍性大腸炎の人
- ・クローン病の人
- ・消化管手術後の人
- ・非ステロイド性消炎鎮痛剤の長期間使用したことによる消化性潰瘍のある人で、この薬を長期使用する必要があり、かつミソプロストールで治療を受けている人
- ・感染症にかかっている人
- ・腎臓を流れる血流量が低下しやすい人（心臓に障害のある人、利尿剤や腎臓の働きに著しい影響を与える薬を飲んでいる人、腹水を伴う肝硬変のある人、大きな手術を受けて間もない人、高齢の人）
- ・腎臓に障害のある人、または過去に腎臓に障害があった人
- ・肝臓に障害のある人、または過去に肝臓に障害があった人
- ・授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬 [トリアムテレン (トリテレン)] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

〔この薬を使用される全ての方に共通〕

- ・やむを得ず他の全身作用を期待する消炎鎮痛剤と併用する場合は、医師または薬剤師に相談し、必要最小限の使用にとどめ、使用後の状態に十分注意してください。

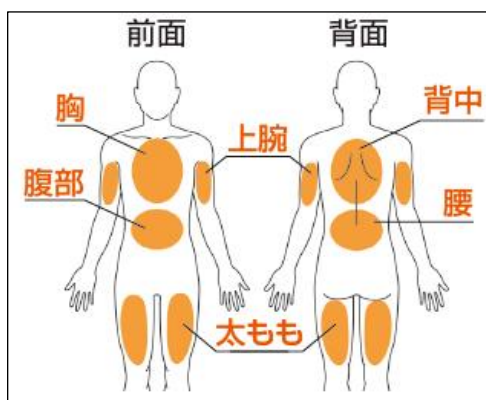
〔各種がんにおける鎮痛に使用する場合〕

- ・通常、成人は1日1回2枚貼ります。あなたの症状などによっては、1日1回3枚貼ることがあります。
- ・この薬を3枚貼付したときの体内の薬物濃度は、ジクロフェナクナトリウム経口剤の通常用量を投与したときと同程度に達するため、1日貼付枚数は3枚を超えて使用しないでください。

〔腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群及び腱鞘炎における鎮痛・消炎に使用する場合〕

- ・通常、成人は1日1回1枚または2枚貼ります。

〔貼る場所〕



- ・この薬は胸、腹部、上腕、背中、腰、太ももの正常で健康な皮膚に貼り、毎日ほぼ同じ時間に（24時間毎に）貼り替えます。

●どのように使用するか？

〔貼る時の注意点〕

- ・傷や湿疹・皮膚炎等のある場所や放射線照射部位には使用しないでください。
- ・入浴後に貼る場合には、十分に水分を拭き取って乾いてから貼ってください。
- ・貼る箇所は毎回変更してください。
- ・この薬を包装袋から取り出した後は、すみやかに貼ってください。
- ・この薬を貼り替える時は、前日に貼った薬をはがしてから、新しい薬を貼ってください。

〔薬の貼り方〕



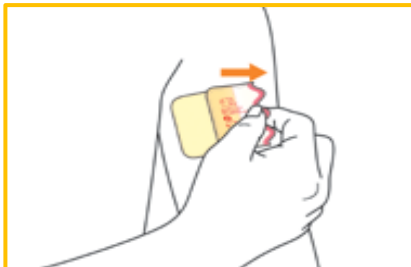
- ・貼る場所をよく拭いて清潔にしてください。
また水分や汗は十分に取り除いてください。



- ・薬を取り出してください。



- ・フィルムを折り返して片手で持ち、まん中のフィルムをはがします。



- ・そのまま粘着面を貼ります。



- ・片方ずつフィルムを引っぱりながら貼ります。



- ・薬を貼ったあとは、手を水でよく洗ってください。

●はがれた場合の対応

薬が途中ではがれた場合は、すみやかに新しい薬を貼ってください。次の貼り替え予定時間には新しい薬に貼り替えてください。

●使用し忘れた場合の対応

貼り忘れに気付いた時点ですぐに貼ってください。また、次の貼り替え予定時間には新しい薬に貼り替えてください。貼り替えていないことに気付いた場合でも、一度に2回分を貼らないでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

〔この薬を使用される全ての方に共通〕

- ・この薬の治療は病気の原因に対して行われるものではなく、症状を軽減するために行われるものです。
- ・この薬の副作用として、体温の下がりすぎや、虚脱、手足が冷たくなるなどの症状があらわれることがありますので、特に高熱のある高齢の人や消耗性疾患の人では、使用後の状態に十分注意してください。
- ・この薬の副作用で重篤な肝臓の障害があらわれることがありますので、継続して使用する場合は、定期的に肝臓の検査が行われることがあります。
- ・この薬の使用中に眠気、めまい、目がかすれる症状がおこった場合は、自動車の運転など、危険をともなう機械の操作はしないよう注意してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することはできません。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

〔腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群及び腱鞘炎における鎮痛・消炎に使用する場合〕

- ・この薬を長期にわたり使用し続ける場合には、定期的に尿検査、血液検査が行われることがあります。
- ・薬物療法以外の治療が行われることがあります。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい
出血性ショック又は穿孔を伴う 消化管潰瘍 しゅっけつせいショックまたはせんこうをとも なうしょうかかんかいよう	ふらつき、息切れ、動悸、冷汗が出る、意識の消失、意識の低下、吐き気、嘔吐（おうと）、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色ときに黒色）、腹痛、便に血が混じる、黒い便が出る、寒気、発熱、激しい腹痛
消化管の狭窄・閉塞 しょうかかんのきょうさく・へいそく	便やおならが出にくい、吐き気、嘔吐、お腹が張る、腹痛
再生不良性貧血 さいせいふりょうせいひんけつ	めまい、体がだるい、息切れ、動悸、あおあざができる、出血が止まりにくい、発熱、寒気、喉の痛み
溶血性貧血 ようけつせいひんけつ	体がだるい、めまい、息切れ、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
血小板減少症 けっしょうばんげんしょうしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
中毒性表皮壊死融解症（Toxic Epidermal Necrolysis：TEN） ちゅうどくせいひょうひえしゅうかいしょう（トキシック・エピダーマル・ネクロリシス：テン）	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群 （Stevens-Johnson症候） ひふねんまくがんしょうこうぐん （スティーヴンス・ジョンソンしょうこうぐん）	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
紅皮症（剥脱性皮膚炎） こうひしょう（はくだつせいひふえん）	ほぼ全身の皮膚が発赤する、発熱をしばしば伴う、しばしばフケのようなものはがれ落ちる、フケやかさぶたのようなものを付着し、それがはがれ落ちる
急性腎障害（間質性腎炎、腎乳頭壊死等） きゅうせいじんしょうがい（かんしつせいじんえん、じんにゅうとうえしとう）	尿量が減る、むくみ、体がだるい、発熱、発疹、関節の痛み、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、血尿、背中での激しい痛み


ネフローゼ症候群 ネフローゼしょうこうぐん	尿量が減る、排尿時の尿の泡立ちが強い、息苦しい、尿が赤みを帯びる、むくみ、体がだるい、体重の増加
重症喘息発作（アスピリン喘息） じゅうしょうぜんそくほっさ（アスピリンぜんそく）	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと音がする、息苦しい
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
うっ血性心不全 うっけつせいしんふぜん	息苦しい、息切れ、疲れやすい、むくみ、体重の増加
心筋梗塞 しんきんこうそく	しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、冷汗が出る
無菌性髄膜炎 むきんせいずいまくえん	発熱、吐き気、頭痛、うなじがこわばり固くなって首を前に曲げにくい
重篤な肝機能障害 じゅうとくなかんきのうしょうがい	体がだるい、吐き気、食欲不振、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）、意識の低下
急性脳症 きゅうせいのうしょう	意識の低下、意識の消失、考える力の低下、記憶力の低下、異常な行動、けいれん、自分の意思とは関係なく身体が動く
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
脳血管障害 のうけっかんしょうがい	突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然片側の手足が動かしくくなる、突然の頭痛、突然の嘔吐、突然のめまい、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる



以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、寒気、体がだるい、出血が止まりにくい、発熱、突然の高熱、発熱をしばしば伴う、むくみ、体重の増加、疲れやすい、体がかゆくなる、けいれん、自分の意思とは関係なく身体が動く、脱力感、急激に体重が増える
頭部	めまい、意識の消失、しばしばフケのようなものがはがれ落ちる、頭痛、うなじがこわばり固くなって首を前に曲げにくい、意識の低下、考える力の低下、記憶力の低下、異常な行動、突然の意識の低下、突然の意識の消

部位	自覚症状
	失、突然の頭痛、突然のめまい
顔面	顔面蒼白、鼻血
眼	白目が黄色くなる、目の充血やただれ
口や喉	喉のかゆみ、喉の痛み、歯ぐきの出血、唇や口内のただれ、吐き気、嘔吐、血を吐く、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色ときに黒色）、咳、突然の嘔吐、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる
胸部	動悸、息苦しい、息切れ、息をするときゼーゼー、ヒューヒューと音がする、しめ付けられるような胸の痛み
腹部	激しい腹痛、食欲不振、お腹が張る、腹痛
背中	背中での激しい痛み
手・足	手足が冷たくなる、手足のこわばり、手足のしびれ、突然片側の手足が動かしにくくなる、関節の痛み
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹、あおあざができる、皮膚が黄色くなる、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、ほぼ全身の皮膚が発赤する、フケやかさぶたのようなものを付着し、それがはがれ落ちる、発疹
筋肉	筋肉の痛み
便	便やおならが出にくい、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）、黒い便が出る、下痢
尿	尿の色が濃くなる、尿量が減る、排尿時の尿の泡立ちが強い、尿が赤みを帯びる、尿が赤褐色になる、血尿

【この薬の形は？】

販売名	ジクトルテープ 75mg
性状	白色～淡黄色の支持体に膏体が展延された長方形のテープ剤
テープ	 <p>ジクトルテープ 75mg ZICTHORU Tapes 75mg</p> <p>2つに折ってから ①のフィルムを はがし患部に貼ります</p> <p>① はじめに はがします</p> <p>ジクトルテープ 75mg ZICTHORU Tapes 75mg</p> <p>② 片方ずつフィルムを はがしながら貼ります</p> <p>注意 指示された貼付部位及び1日使用枚数を守ること</p>

	1袋1枚包装	1袋7枚包装
包装		
識別コード	HP308T (包装袋に表示)	

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	日局ジクロフェナクナトリウム
添加剤	香料（フェニルエチルアルコール）、脂環族飽和炭化水素樹脂、ジメチルスルホキシド、水素添加ロジングリセリンエステル、スチレン・イソプレン・スチレンブロック共重合体、ステアリン酸亜鉛、精製オレイン酸、ポリイソブチレン、流動パラフィン（その他3成分）

【その他】

●この薬の保管方法は？

〔この薬を使用される全ての方に共通〕

- ・高温にならない場所で保管してください。
- ・使用するまで包装を開けてはいけません。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

〔1袋7枚包装の場合〕

- ・開封後はチャックをしめて保管し、開封日より30日を超えたものは使用しないでください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

●廃棄方法は？



- ・はがした薬は、まだ薬の成分が残っているので接着面を内側にして半分に折り込んでください。必ず、子供の手や目の届かない所に廃棄してください。
- ・薬をはがした後は、手を目に触れず、手を水でよく洗ってください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：久光製薬株式会社 (<https://www.hisamitsu.co.jp/>)

お客様相談室

TEL. 0120-133250

受付時間／9：00－17：50（土日・祝日・会社休日を除く）